

科目名					授業の種類	授業担当者
子ども家庭支援の心理学					講義	杉村 僚子
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修	
1	2	30	15	前期	幼免：必修	保育士：必修
<p>〔授業の目的・ねらい〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得する。 家族・家庭の意義や機能を理解した上で、親子関係や家族関係等について発達的な観点から捉える。 子育て家庭をめぐる現代的課題について理解する。 子どもの精神保健とその課題について理解する。 						
<p>〔授業全体の内容と概要〕</p> <p>乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老年期と生涯に渡る発達について理解した上で、各時期の発達課題や初期経験の重要性について学ぶ。また、家族・家庭の意義や機能を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。さらに、子育て家庭に関する現状と課題、子どもの精神保健とその課題について学ぶ。</p>						
<p>〔受講上の注意事項〕</p> <p>授業時に配布した資料を適切に管理し、毎回持参していつでも参照できるようにすること。</p>						
〔使用テキスト〕				〔評価基準〕		
新・基本保育シリーズ⑨ 子ども家庭支援の心理学 (白川佳子・福丸由佳編集 中央法規)				期末試験(70%)と授業内の課題(30%)で評価する。		
〔授業の日程と各回のテーマ・授業内容〕						
回	項目		授業内容			
1	生涯発達とは		従来の発達観から、生涯発達心理学という新たな観点への変化について理解する。			
2	乳幼児期の発達①		乳児期、幼児期の発達の概要を理解する。			
3	乳幼児期の発達②		乳児期、幼児期の発達の概要を理解する			
4	児童期の発達		児童期の発達の概要を理解する。			
5	青年期の発達		青年期の発達の概要を理解する。			
6	成人期・老年期の発達		成人期・老年期の発達の概要を理解する。			
7	家族・家庭の意義と機能		家族・家庭の意義や機能について学ぶ。			
8	親子関係・家族関係の理解		親子関係・家族関係について発達的観点から理解する。			
9	子育ての経験と親としての育ち		親としての発達、家族発達について学ぶ。			
10	子育てを取り巻く現状と課題		子育てに関わる社会的状況の変化や現代的課題について学ぶ。			
11	ライフコースと仕事・子育て		ライフコースの多様化やライフ・ワークバランスについて理解する。			
12	多様な家庭とその理解		現代家庭の多様さ、特別な配慮を必要とする家庭について理解する。			
13	子どもの生活・育成環境とその影響		発達初期の経験の重要性について学ぶ。			
14	子どもの心の健康に関わる問題		子どもの精神保健とその課題について理解する。			
15	まとめと試験		これまでの内容を総括し、試験を行う。			
実務教員としての経歴						
実務経験と授業の関連						